


電 気 供 給 条 件 [Ⅱ]

(特 別 高 圧)

特別高圧季節別時間帯別電力B

平成 28 年 4 月 1 日 実 施

 東北電力株式会社

目 次

1	目 的	1
2	適用条件	1
3	契約期間	1
4	季節区分および時間帯区分	1
5	契約電力	2
6	料 金	2
7	使用電力量の計量	3
8	予備電力Bをあわせて契約する場合の取扱い	3
9	そ の 他	5
	附 則	6
	別 表	7

特別高圧季節別時間帯別電力B

1 目 的

この電気供給条件〔Ⅱ〕（以下「この供給条件〔Ⅱ〕」といいます。）は、季節別時間帯別に設定された料金によって、より電力需要の少ない時間帯への負荷移行を促進し、電力設備の効率的な使用に資することを目的といたします。

2 適用条件

- (1) この供給条件〔Ⅱ〕は、特別高圧で電気の供給を受けて、動力（付帯電灯を含みます。）を使用するお客さまが、この供給条件〔Ⅱ〕の適用を希望され、当社との協議が整った場合に適用いたします。

なお、契約電力は原則として2,000キロワット以上といたします。

- (2) この供給条件〔Ⅱ〕は、次の地域に適用いたします。

青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、新潟県

ただし、山形県の飛島ならびに新潟県の佐渡島および粟島は除きます。

3 契約期間

契約期間は、電気供給条件〔Ⅰ〕（平成28年4月1日実施。以下「供給条件〔Ⅰ〕」といいます。）7（需給契約の成立および契約期間）(2)にかかわらず、次によります。

- (1) 契約期間は、需給契約が成立した日から、料金適用開始の日以降1年目の日までといたします。
- (2) 当社は、契約期間満了に先だって、継続される契約期間のみをお客さまにお知らせし、お客さままたは当社から需給契約の消滅または変更等の意思表示がない場合は、需給契約は、契約期間満了後も1年ごとに同一条件で継続されるものといたします。

なお、当社は、継続後の契約期間等について、書面等にてお客さまにお知らせいたします。

- (3) 契約期間満了に先だって、原則として他の需給契約に変更することはできません。

4 季節区分および時間帯区分

- (1) 季節区分は、次のとおりといたします。

イ 夏 季

毎年7月1日から9月30日までの期間をいいます。

ロ その他季

夏季以外の期間をいいます。

- (2) 時間帯区分は、次のとおりといたします。

イ ピーク時間

夏季の毎日午後1時から午後4時までの時間をいいます。ただし、別表1（休日等）に定める日の該当する時間を除きます。

ロ 昼間時間

毎日午前8時から午後10時までの時間をいいます。ただし、ピーク時間および別表1（休日等）に定める日の該当する時間を除きます。

ハ 夜間時間

ピーク時間および昼間時間以外の時間をいいます。

5 契約電力

(1) 契約電力は、使用する負荷設備および受電設備の内容、同一業種の負荷率、操業度等を基準として、お客さまと当社との協議によって定めます。

なお、お客さまが新たに電気を使用される場合等で、適当と認められるときは、需給開始の日から1年間については、契約電力がてい増する場合に限り、段階的に定めることがあります。

(2) 当社は、30分最大需要電力計を取り付けます。

(3) お客さまが同一の需要場所で、新たに電気の供給を受ける前から引き続き当社の供給設備を利用される場合には、新たに電気の供給を受ける前の電気の供給は、契約電力の決定上、この供給条件〔Ⅱ〕によって受けた供給とみなします。

6 料 金

料金は、基本料金、電力量料金および供給条件〔Ⅰ〕別表1（再生可能エネルギー発電促進賦課金）(3)によって算定された再生可能エネルギー発電促進賦課金の合計といたします。ただし、基本料金は、(3)によって力率割引または割増しをする場合は、力率割引または割増しをしたものといたします。また、電力量料金は、供給条件〔Ⅰ〕別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が31,400円を下回る場合は、供給条件〔Ⅰ〕別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、供給条件〔Ⅰ〕別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が31,400円を上回る場合は、供給条件〔Ⅰ〕別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を加えたものといたします。

(1) 基本料金

基本料金は、1月につき次のとおりといたします。ただし、まったく電気を使用しない場合（8〔予備電力Bをあわせて契約する場合の取扱い〕により予備電力Bによって電気を使用した場合を除きます。）の基本料金は、半額といたします。

契約電力1キロワットにつき	標準電圧30,000ボルトで供給を受ける場合	1,782円00銭
	標準電圧60,000ボルトで供給を受ける場合	1,717円20銭
	標準電圧140,000ボルトで供給を受ける場合	1,652円40銭

(2) 電力量料金

電力量料金は、その1月の時間帯別の使用電力量によって算定いたします。

イ ピーク時間

1 キロワット時につき	標準電圧 30,000 ボルトで供給を受ける場合	16 円 74 銭
	標準電圧 60,000 ボルトで供給を受ける場合	16 円 28 銭
	標準電圧 140,000 ボルトで供給を受ける場合	15 円 81 銭

ロ 昼間時間

昼間時間のうち、夏季に使用された電力量には夏季料金を、その他季に使用された電力量にはその他季料金をそれぞれ適用いたします。

		夏季料金	その他季料金
1 キロワット時につき	標準電圧 30,000 ボルトで供給を受ける場合	15 円 54 銭	14 円 34 銭
	標準電圧 60,000 ボルトで供給を受ける場合	15 円 12 銭	13 円 96 銭
	標準電圧 140,000 ボルトで供給を受ける場合	14 円 70 銭	13 円 59 銭

ハ 夜間時間

1 キロワット時につき	標準電圧 30,000 ボルトで供給を受ける場合	10 円 76 銭
	標準電圧 60,000 ボルトで供給を受ける場合	10 円 51 銭
	標準電圧 140,000 ボルトで供給を受ける場合	10 円 26 銭

(3) 力率割引および割増し

イ 力率は、その1月のうち毎日午前8時から午後10時までの時間における平均力率（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は、100パーセントといたします。）といたします。

なお、まったく電気を使用しないその1月の力率は、85パーセントとみなします。

ロ 力率が、85パーセントを上回る場合は、その上回る1パーセントにつき、基本料金を1パーセント割引し、85パーセントを下回る場合は、その下回る1パーセントにつき、基本料金を1パーセント割増しいたします。

7 使用電力量の計量

使用電力量の計量は、原則として各時間帯別に行ないます。

8 予備電力Bをあわせて契約する場合の取扱い

(1) 適用条件

常時供給設備等の補修または事故により生じた不足電力の補給にあてるため、次の場合により予備電線路による電気の供給をお客さまが希望される場合には、予備電力Bとして、この供給条件〔Ⅱ〕とあわせて契約することができます。

イ 予備線

常時供給変電所から常時供給電圧と同位の電圧で供給を受ける場合

ロ 予備電源

常時供給変電所以外の変電所から供給を受ける場合または常時供給変電所から常時供給

電圧と異なった電圧で供給を受ける場合

(2) 契約電力

契約電力は、常時供給分と異なった電圧で電気の供給を受ける場合を除き、常時供給分の契約電力の値といたします。ただし、お客さまに特別の事情がある場合で、お客さまが常時供給分の契約電力の値と異なる契約電力を希望されるときは、予備電力Bによって使用される負荷設備および受電設備の内容または予想される最大需要電力を基準として、お客さまと当社との協議によって定めます。この場合の契約電力は、50 キロワットを下回らないものいたします。

(3) 料 金

料金は、6（料金）によって算定された金額に次のイの基本料金とロの電力量料金を加えた金額をその1月分の料金として申し受けます。ただし、電力量料金は、供給条件〔I〕別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が31,400円を下回る場合は、供給条件〔I〕別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を差し引いたものとし、供給条件〔I〕別表2（燃料費調整）(1)イによって算定された平均燃料価格が31,400円を上回る場合は、供給条件〔I〕別表2（燃料費調整）(1)ニによって算定された燃料費調整額を加えたものいたします。

イ 基本料金

基本料金は、電気の使用の有無にかかわらず、予備線については1月につき次によって算定した値の5パーセント、予備電源については1月につき次によって算定した値の10パーセントに相当するものいたします。ただし、常時供給分と異なった電圧で供給を受ける場合には、契約電力は、基本料金の算定上、常時供給分の電圧と同位の電圧にするための計量損失率で修正したものいたします。

契約電力 1 キロワットにつき	標準電圧 30,000 ボルトで供給を受ける場合	1,782 円 00 銭
	標準電圧 60,000 ボルトで供給を受ける場合	1,717 円 20 銭
	標準電圧 140,000 ボルトで供給を受ける場合	1,652 円 40 銭

ロ 電力量料金

電力量料金は、その1月の使用電力量につき、常時供給分の該当電力量料金率を適用し、常時供給分の電力量料金とあわせて算定いたします。ただし、常時供給分と異なった電圧で供給を受ける場合には、使用電力量は、電力量料金の算定上、常時供給分の電圧と同位の電圧にするための計量損失率で修正したものいたします。

(4) 力率割引および割増し

力率割引および割増しはいたしません。ただし、常時供給分の力率割引および割増しの算定上、予備電力Bによって使用した電気は、原則として常時供給分によって使用した電気とみなします。

(5) そ の 他

イ お客さまが希望される場合には、予備線による電気の供給と予備電源による電気の供給とをあわせて受けることができます。

ロ 制限または中止の料金割引は、次により取り扱います。

(イ) 予備電力Bにより電気を供給する場合，常時供給分に対する制限または中止の料金割引は，供給条件〔Ⅰ〕35（制限または中止の料金割引）により取り扱います。また，常時供給分と予備電力Bを同時に制限または中止した場合は，それぞれについて供給条件〔Ⅰ〕35（制限または中止の料金割引）により取り扱います。

(ロ) 予備電力Bに対し，電気の供給が不可能な状態にあった場合は，常時供給分により電気が供給されていても供給条件〔Ⅰ〕35（制限または中止の料金割引）により割引いたしません。

ハ その他定めのない事項については，常時供給分の規定に準ずるものといたします。

9 そ の 他

(1) 発電設備等を介して，付帯電灯以外の電灯（小型機器を含みます。）を使用することはできません。

(2) この供給条件〔Ⅱ〕に定めのない事項については，供給条件〔Ⅰ〕によります。

附 則

1 実施期日

この供給条件〔Ⅱ〕は、平成28年4月1日から実施いたします。

別 表

1 休 日 等

この供給条件〔Ⅱ〕において、休日等とは、次の日をいいます。

日曜日

「国民の祝日に関する法律」に規定する休日

1月 2日

1月 3日

1月 4日

4月 30日

5月 1日

5月 2日

12月 29日

12月 30日

12月 31日